

伊予市中央公民館の活動について

伊予市教育委員会事務局社会教育課

1 本年度の取組

(1) 夏休み親子ふれあい健康教室

毎年夏休み期間中に「子どもの心と身体の健康づくり」と「親子のふれあいのきっかけづくり」を目的として、市内の小学生とその保護者を対象に開催している。

令和2・3年度はコロナ禍により開催することができなかったが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染対策を十分に行ったうえで実施した。

まず、保健センターの栄養士を講師とした健康教室で、栄養や運動等について学んだ後、レクリエーションで楽しく体を動かした。それから、食生活改善推進員の指導の下、親子で調理をした。

例年であれば汁物や煮物などを作った後、楽しく試食していたが、今回は持ち帰って食べられるよう、くるみまんじゅうと抹茶ババロアにした。

(2) ココロとカラダのリフレッシュ講座

「子育て中の保護者が、家庭ではできない活動を体験することにより、子育ての楽しさを再認識できるきっかけをつくる」「様々な分野の学びを通じて、自分に合った分野を見付け、今後の生涯学習につなげるとともに、学んだ成果を生かし地域で活躍する」ことを目的として、市内在住または市内幼稚園・保育施設に通う子どもの保護者を対象に開催してい



【レクリエーションの様子】



【調理実習の様子】



【リフレッシュ 朝ヨガ】

る。参加しやすいよう、希望者には託児サービスを行った。

今年度は「リフレッシュ 朝ヨガ」「コーヒーワークショップ」「クリスマスオーナメントのクッキー作り」「多肉植物の寄せ植え」「絵本で自分を見つめるブックトーク&ワーク」の5講座を企画した。うち4講座の講師は、市内で活動している個人や団体に依頼した。中でも、「コーヒーワークショップ」や「絵本で自分を見つめるブックトーク&ワーク」は、初めての企画であったが好評だった。また、参加しやすいよう一講座から受けられるよう工夫した。



【コーヒーワークショップ】

2 成果

夏休み親子ふれあい健康教室には、保護者 11 名、小学生 17 名、未就学児 3 名の 31 名が参加した。実施後のアンケートでは「コロナ禍で体験すること自体が少ない中、良い体験ができた」「家で作らないメニューを親子で作ることができて楽しかった」という感想が多かった。

また、ココロとカラダのリフレッシュ講座へは、年間受講 7 名、一講座受講 6 名の申込みがあった。全 5 回終了後のアンケートには、「託児があったので、ゆったりとした気持ちでいろいろ吸収できた。母親という立場が先行してしまうが、そこから少し離れられる貴重な時間を与えてもらってありがたかった」「ヨガのように体を動かして体調を整える内容は良かった」という感想があり、「内容は全て良かった」という感想も複数あった。

5 回の講座を通して、初対面だった受講者同士が次第に打ち解けて、会話が弾んでいたことが印象的であり、公民館の役割である「つどう」「まなぶ」「むすぶ」に近づけているのではないかと感じた。

3 課題

ココロとカラダのリフレッシュ講座は、平日の日中に開催することから、仕事をしている保護者は参加できないという課題がある。「様々な分野の学びを通じて、自分にあった分野を見付け、今後の生涯学習につなげるとともに、学んだ成果を生かし地域で活躍すること」という目的は、まだまだ達成されていないと感じる。来年度以降できるところから改善していきたい。

また、「むすぶ」に関しては、講座の中で受講者の学びを完結させてしまうのではなく、閉講後もさらに学びたくなるような工夫が必要と感じている。各地区公民館の活動へつなげていく取組を進めていきたい。